

謹賀新年

今後におきましても、先人が遺した「備えあれば憂いなし」の言葉を教訓に、安心安全な市民生活を保障するための施策として、生活・産業基盤の保全を図るべく現在「平戸市国土強靱化地域計画」を策定しているところです。国や県の施策と連動しながら、さらに万全な対策を講ずることで災害に強い地域づくりを進めてまいります。

また、全国的な少子高齢時代の到来の中で地方と都市部の人口格差が広がっていく現状を踏まえ、平成28年3月には将来展望を提示する「平戸市人口ビジョン」および「第一期平戸市総合戦略」を策定し、人口減少抑制に取り組んできたところでもあります。しかしながら、慢性的な人口減少傾向に効果的な歯止めがかかっていないとはいえない状況にあります。一方で歴史的な視座から全体的な可能性を見渡しますと、私たちの先人先達が築いてこられたさまざまな価値や財産は、時空を超えて高い評価が寄せられております。

この中で、現在進めているいくつかの具体例を挙げますと、民間の資本とノウハウを活用して、官民一体となって実施するPark&PFI制度を導入し、新しいキャンプスタイルに対応するため整備を進めている、中瀬草原キャンプ場が民間運営により本年4月にリニューアルオープンする予定です。さらに市民のシンボルでもある平戸城の宿泊化事業は、政府の絶大なご支援を受けて本年7月を目標に着実に進められており、早くも国内外から関心と注目を集めているところでもあります。加えて令和2年は、平戸オランダ商館や平戸英国商館の設置に尽力された三浦按針の没後400周年を迎えることから関係自治体や民間団体との連携を密にし、先頭に立って更なる史実の認知度を高めるための努力を行なってまいります。こうした平戸ならではの魅力や価値を国内外に発信していくことで、本市との関係人口、交流人口の増大に積極果敢に取り組んでまいります。

市

民の皆さま方におかれましてはご家族お揃いで新年をお迎えにられましたことを心からお喜び申し上げますとともに、常に市政執行に対し深いご理解と温かいご支援をお寄せ頂きましたことに改めて厚く御礼を申し上げます。

さて、ここ数年来日本列島の各地で甚大な自然災害が頻発しました。本市におきましても8月末の記録的集中豪雨により農業施設や道路などが被害に見舞われましたが、幸いにして重大な人的被害などが起こらなかったことに市民の皆さんと共に胸をなで下ろしたところであります。



令和元年8月26～29日 前線による大雨



三浦按針没後400周年事業



平戸城宿泊化事業

結びに、この1年が皆さまにとりまして、限りなくお幸せで明るい飛躍の年になりましますことをお祈り申し上げます。年頭のごあいさつといたします。

平戸市長 黒田成彦



2020年
年頭のごあいさつ

A Happy New Year

中瀬草原キャンプ場

明 けましておめでとうございませう。皆さまには健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、児童生徒のスポーツ、文化面での数々の輝かしい活躍が見られました。中でも、野子中学校の女子バレー部は、全校女子生徒数9人、うち7人の部員で挑んだ県総体で3位に輝く快挙を成し遂げました。また、大島中学校のリズムダンスは、4年連続で全国優勝または準優勝に輝いています。本市の学校教育は「高い志を持つ人づくり」を目標に掲げていますが、小

規模で、離島へき地というハンデを高い志で克服した成果だと言えるでしょう。新年度からは、いよいよ学習指導要領が小学校において全面実施となります。英語教育やプログラミング教育の拡充が図られ、「主体的・対話的で深い学び」への授業改善が進められています。これからの激動の時代を生き抜く力を培うことの重要性を社会全体が共有し、取り組むことが大切だと思ふところですので。

社会教育においては、生月町中央公民館の老朽化に伴い、生月支所2階・3階を大規模に改修し整備を行いました。新年度には、図



平戸市教育長
小川 茂敏

書室、開発総合センターと一体となった、社会教育やまちづくりの拠点として活用されるものと期待します。

新年号・令和には、「人々が心を寄せ合う中で、文化が生まれ育つ」との意味が込められているそうです。本市教育活動へ心を寄せていただき、健康で生きがいあふれ、豊かな文化漂う平戸市の実現にご支援賜りますようよろしくお願い申し上げます。

明 けましておめでとうございませう。令和最初のお正月、皆さまにおかれましては、新しい時代に希望を持って、



長崎県議会副議長
西川 克己

お健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、私にとりまして、4回目の県議会議員選挙があり、皆さまの温かいご支援のもと当選を果たすことができました。又、5月の議会におきまして、副議長に選任されました。これも偏に市民の皆さまの心強いご支援のたまものと心より感謝いたしているところでございます。お陰様で、平成29年30年と自由民主党長崎県連の総務会長、今回の副議長と長崎県全体の政策などに携わることができ、この貴重な経験は今後の私の政治活動に役立つものと思ひ、日々活動しているところでございます。

さて、長崎県におきましては、今までの第1期総合戦略から見えてきた課題を検討し、令和2年度から7年度までを計画期間とする次期総合戦略を策定しております。計画の基本目標として、①地域で活躍する人材を育て、未来を切り拓く②力強い産業を育て、魅力ある仕事を生み出す③夢や希望のあるまち、持続可能な地域を創るの3点を挙げ、各関係機関と連携し、それぞれの基本的方向と、個別施策に取り組んでいきます。平戸市における人口減少、若者の働く場所不足、後継者不足など課題の克服のため、どの施策を利用していくのが役立つのか、平戸市長をはじめ、市議会議員の皆さまなど意思の疎通を図り、平戸市の振興に向け活動してまいります。

結びに、平戸市の更なるご繁栄と市民の皆さんのご健勝にて、今年が良い年になりますよう心より祈念申し上げます。

平戸市議会議長 山内 清二

「市民目線に立ち、寄り添いながら
議会の活性化を図ってまいります」



明 けましておめでとうございませう。平戸市議会を代表して一言新年のごあいさつを申し上げます。

希望に満ちた輝かしい令和2年の新春を皆さまが健勝にてお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。また、日頃から本市の市政運営ならびに議会活動に對しまして、温かいご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。私も昨年11月に議長に就任し、2カ月が過ぎようとしておりますが、



8月の豪雨時には、西川県議ら関係機関と地元住民立ち会いで災害現場を視察

新しい年を迎え、その責任の重さを改めて感じるとともに、平戸市のさらなる発展のために、引き続き努力してまいりたいと決意を新たにしております。

昨年を振り返りますと、台風19号をはじめ度重なる台風の上陸やこれまで経験のない集中豪雨により河川の氾濫が相次ぐなど、全国各地で甚大な被害が発生いたしました。本市においても8月には観測史上最大の総雨量を記録する豪雨にみまわれ、気象庁の「大雨特別警報」の発表を受けて、「警戒レベル4となる「避難勧告」が市内全域に発令されました。この豪雨により各地で土砂崩れや道路の冠水など

甚大な被害が発生し、大きな爪痕を残すものとなりました。近年、自然災害が激甚化・頻発化している状況を踏まえ、市民の皆さまが安全に安心して暮らせるよう、早急に防災・減災対策に取り組んでいく必要があると考えております。

さて、いよいよ今年には実に56年ぶりとなる「東京オリピック・パラリンピック」が日本で開催されます。市民の皆さまにおかれましては、これを機に、改めてスポーツの持つすばらしさや感動を味わっていただくとともに、自分自身もスポーツに取り組むことで、健康増進や毎日の充実した生活につなげてほしいと思ひます。一方、市内に目を向けますと、地方創生推進交付金を活用した日本100名城初となる平戸城懐柔櫓の宿泊施設も本年7月のオープンに向け着々と準備が進んでおり、訪日外国人の誘客による更なる観光推進が期待されるところであります。

また、令和2年度は第2期平戸市総合戦略の初年度となりますが、本市の人口は依然として減少しておりこれまで実施した施策を十分に評価・検証し、人口減少の抑制と地方創生に真に効果のある事業を展開していかなければなりません。議会といたしましても、今後とも、本市が抱えるさまざまな課題の解決に向け、市民の皆さまの目線に立ち、寄り添いながら、負託にこたえられる市議会となるよう努めてまいります。また、議員一丸となって積極的な議員活動を展開し、公平かつ円滑な議会運営に努め、議会のさらなる活性化を図ってまいりますので、今後とも、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、市民の皆さまにとりまして、本年が笑顔あふれ、活気みなぎる年となりますことをご祈念いたしまして、新年のごあいさつといたします。